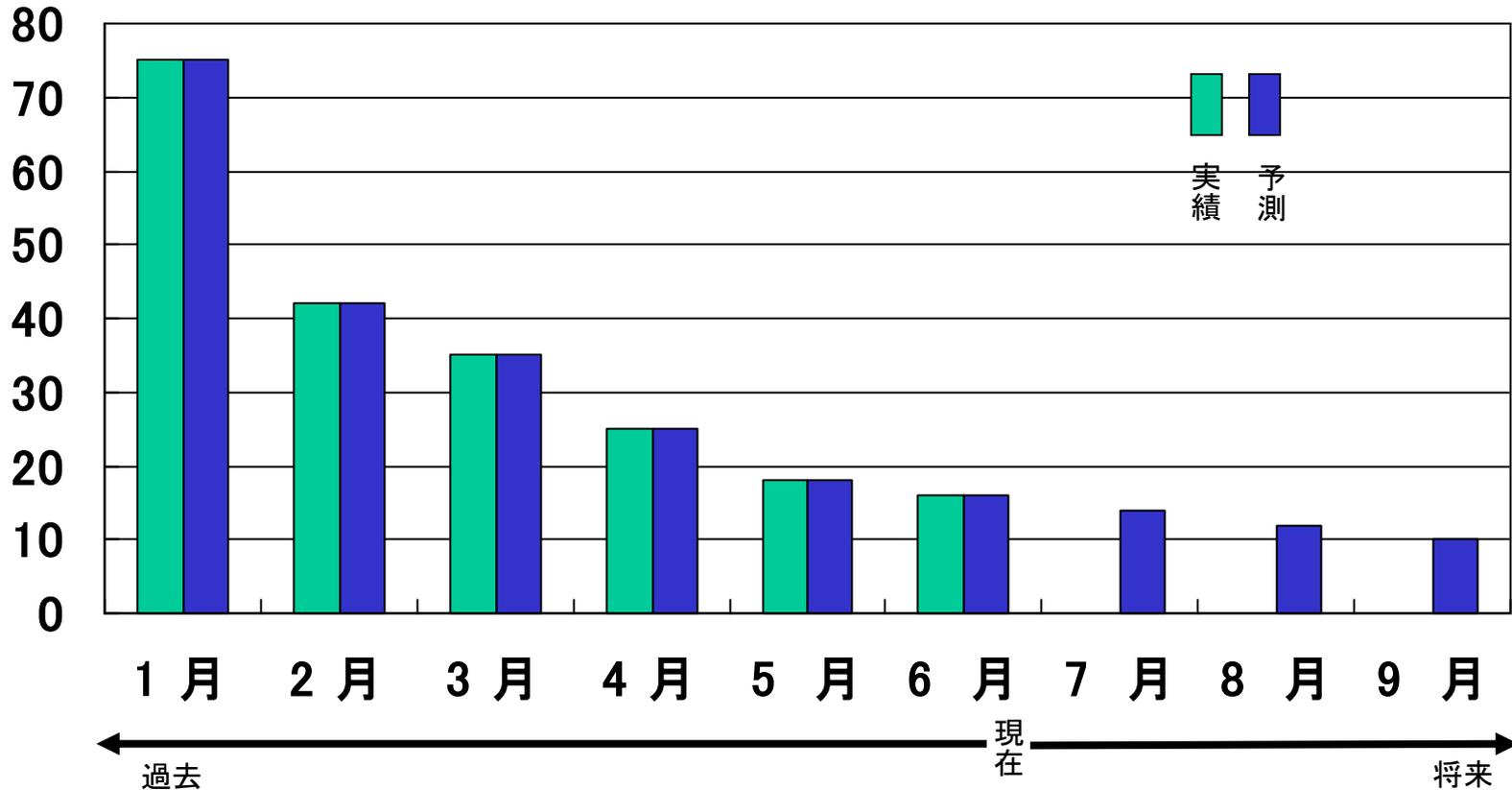


グラフ1

月別交通事故件数の推移

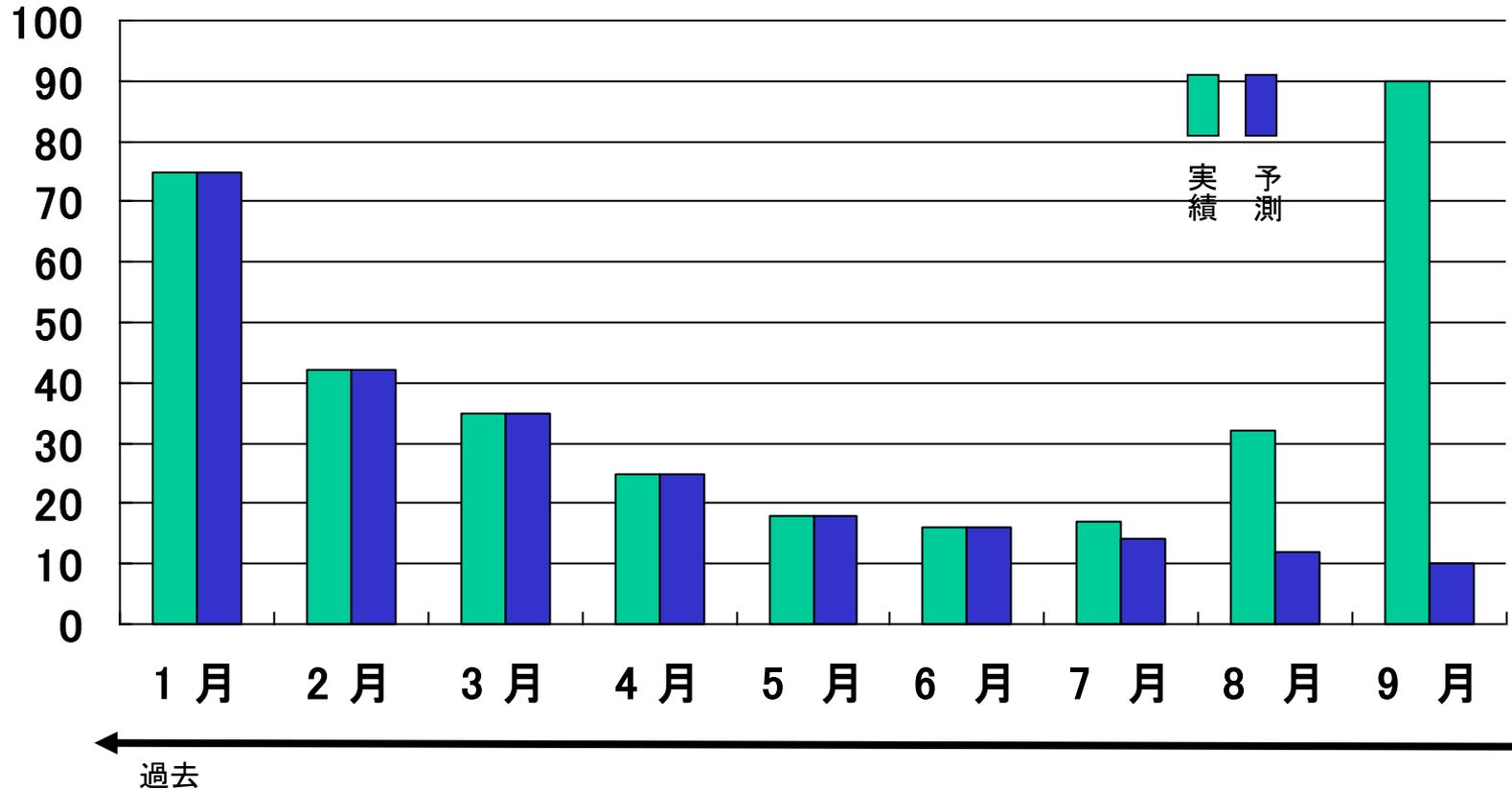


グラフ1はある都市の月別交通事故件数である。グラフを見ると今年1月～6月までの件数は減少傾向にある。そこには何らかの原因があったと考えられる。

傾向から見れば、7月以降も  の棒グラフのように、減少傾向が続くと予想される。ただし、今後も減り続けるとは限らない。あくまで対象の1月～6月の傾向に過ぎない。

グラフ2

月別交通事故件数の推移



グラフ2は、グラフ1に7月以降の実績も加えた件数の推移である。件数は7月以降増大している。そこには何らかの原因があったと考えられる。
 このようにある傾向から将来を予測することはできても、その予測が必ずしも的中するとは限らない。世界の未来は予測通りにはいかない。即ち、世界には確定された方向性など存在しない。